

令和7年度 公立学校教員採用候補者選考試験解答用紙

水産（漁業）

1 / 4 枚中

受験番号

第1問題 各1点 合計4点

(1)	刺網漁業	(2)	巻網漁業	(3)	定置網漁業	(4)	延縄漁業
-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------

第2問題 各1点 合計7点

問1	ア	G	イ	C	ウ	I	エ	L
	オ	P	カ	S				
問2	親潮水塊							

第3問題 各1点 合計8点

問1	ア	オッターボード	イ	スリップウェイ	ウ	ラインホーラ	エ	スキフボート
	オ	ブライン	カ	スパンカー	キ	シーアンカー		
問2	枝縄（や浮き縄）を巻き取る装置							

第4問題 合計4点

問1	最大持続生産量（MSY）（2点）
問2	漁獲個体の小型化（2点）

第5問題 合計7点

問1	耳石（1点）	鱗（1点）
問2	TAC（2点）	
問3	海底に落としてしまった漁具が回収できずに、あるいは投棄された漁具が漂流した状態でいつまでも魚を取り続けてしまい、資源を無駄にしてしまうこと。 (3点)	

第6問題 各1点 合計7点

問 1	ア	E	イ	C	ウ	D	エ	B
	オ	A	カ	F				
問 2	5 年							

第7問題 各1点 合計6点

①	2	②	3	③	3	④	4
⑤	4	⑥	5				

第8問題 合計7点

問 1	11度 15分 (1点)				
問 2	点画式	E N E (1点)	90° 式	N67.5° E (1点)	
問 3	計算過程 コンパス方位 218° 磁針方位 <u>221°</u> 自 差 3° E				
					自差 3° E (4点)

第9問題 合計10点

問 1	計算過程 出発緯度 10° -00' N                      出発経度 140° -00' E 緯 差 1° -50' S +                      経 差 1° -30' E 到着緯度 8° -10' N                      到着経度 141° -30' E	
		緯度 8° -10' N 経度 141° -30' E (4点)
問 2	60海里 (2点)	
問 3	航程が600海里を超える場合 (2点)	
	両地（出発地と到着地）が赤道をまたぐ場合 (2点)	

水産（漁業）

3 / 4 枚中

受験番号

第10問題 各2点 合計10点

問1	平均水面 (2点)			
問2	最低水面 (2点)			
問3	眼高	5 m (2点)	基準面	平均水面 (2点)
問4	閃光(単閃光) (2点)			

第11問題 問1各1点 問2各2点 合計14点

問1	ア	D	イ	F	ウ	K	エ	M
	オ	Q						
問2	直進性がよい。(短いパルス波を発射でき、最小探知距離と距離分解能が向上する)							
	物標からの反射波が強い (指向性の強い電波を発射できる) ※この中から2つ解答							
問3	船舶設備規程 (2点)							
問4	生存者の位置を知らせる捜索救助用レーダートランスポンダは、Xバンドレーダーに反応して電波を発信するため。 (捜索救助用レーダートランスポンダ信号受信のため)							(3点)

第12問題 合計2点

D

第13問題 合計7点

問 1	操縦性能制限船 (1点)
	漁ろうに従事している船舶 (1点)
	帆船 (1点)
問 2	船舶の操縦性能を制限する故障その他の異常な事態が生じているため、他の船舶の進路を避けることができない船舶 (2点)
問 3	最も見えやすい場所に紅色の全周灯 2 個連携 舷灯 1 対 船尾灯 1 個 (2点)

第14問題 合計7点

問 1	Ⓐ	浦賀水道航路 (1点)
	Ⓑ	中ノ瀬航路 (1点)
問 2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 針路及び速力を保つ</li><li>・ 避航船（乙丸）が適切な動作をとっていないことが明らかになった場合は、直ちに避航船との衝突を避けるための動作をとることができる。</li><li>・ 警告信号を行わなければならない。</li><li>・ やむを得ない場合を除き針路を左に転じてはならない。</li><li>・ 避航船（乙丸）と間近に接近したため、避航船（乙丸）の動作のみでは衝突を避けることができないと認める場合は、衝突を避けるための最善の協力動作をとらなければならない。</li></ul> (各1点 合計5点)	